

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2003年7月22日

2003年7月20日現在：

7月20日に終わる1週間も引き続き高温・乾燥状態となり、1週間の州平均農作業日数は前週に続き6.9日（前週：6.9日）であった。最高気温は100～104度F、平均気温は平年を凡そ4～9度F程上回った。東中央地区（EC）及び南東地区（SE）では降雨は記録されなかった。Topsoil 及び Subsoil の水分、灌漑用水の供給量は前週より悪化した。

Adams 群の冬小麦の15%が収穫され、数日中に最盛期を迎える。単位収量は過去10年平均より良いと報告された。2004年産冬小麦の播種の為、降雨が必要な状態である。Asotin/Garfield 両郡では海拔の低い地域より収穫が開始された。冬小麦の単位収量は略平年並みであるが、春小麦の単位収量は良くない。Douglas 郡でも出穂後の高温・強風が小麦の作柄を悪くした。春小麦の単位収量は平年以下と予想される。Lincoln 郡の南部より冬小麦の収穫が開始された。高温・乾燥気象の為北部へと急速に収穫は進んでいる。Walla Walla 郡の小麦収穫は最盛期を迎えた。冬小麦の単収は良いが、春小麦は6月以降の高温気象の影響より、単位収量は平年以下である。Whitman 群では6月1日より降雨が無い。冬小麦の収穫は7月15日より同郡南西の丘陵地帯から開始された。その後徐々に収穫は東部へと進んでいる。冬小麦の単位収量は平年並みか多少平年を上回っているが、春小麦の単位収量は良くない。特に播種の遅かった圃場の単位収量は、極めて悪い状態と報告された。冬及び春小麦共に作柄は前週より悪化した。

7月20日現在の冬小麦の収穫進捗状況は、昨年並びに平年より早く、全州にて冬小麦の10%が収穫された（昨年同期：7%、平年：7%）。春小麦は全体の3%が収穫された。春小麦の収穫は、昨年と同じ進捗状況であるが、平年より早い開始である。

7月1日付けUSDAの冬・春小麦の生産量予想が発表された。冬小麦の単位収量は6月1日の予想より2.0bushels 増え、昨年比1割増の64.0 bushels/acre と成った。春小麦の単位収量は、44.0 bushels/acre（昨年：43.0 bushels）であった。

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	36	35	29	0
Subsoil (%)	12	30	58	0
Irrigation Water (%)	1	11	88	0

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
2003 Spring wheat Harvested (%)	3	0	3	1
2003 Winter wheat Harvested (%)	10	3	7	7

次頁へ：

小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat					
Dry Land (%)	3	9	29	44	15
Irrigation (%)	0	0	18	75	7
Spring wheat					
Dry Land (%)	7	20	54	18	1
Irrigation (%)	0	0	14	86	0

Source: Washington Agricultural Statistics Service

7月1日付け農務省発表の冬及び春小麦生産量予想：

Kind of Wheat	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				June 1	July 1		
Winter	1,750	1,800	59.0	62.0	64.0	103,250	115,200
Spring	615	545	43.0	-	44.0	26,445	23,980

当該作柄レポートへのご質問、ご意見は下記宛てにお願いします。

小川正晃 : E-mail ogawa.max@omicnet.com